



町長回誌 No.124

町長日誌の第124号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

2月24日(日) AM9:00

先週、流氷が稚内から知床まで接岸するなか、オホーツク海側は大荒れの吹雪となりました。特にオホーツク南部が雪の影響を受け、宇登呂など数カ所て孤立する地域が発生し道路が長期間閉鎖され、生乳の集荷が出来ず根管内では大量に廃棄処分したようです。本町も降雪量が多く吹雪になりましたが、幸いにも交通網をはじめ被害には至りませんでした。しかし、内陸部では結構な降雪量でしたので、あちこちで屋根の雪下ろしが行われています。かく言う私も日曜日には、すっかり窓が埋まってしまった牛舎の排雪を行いました。今週は3月並みの気温となるようですので、落雪や雪下ろしの事故には十分気を付けてください。年明けから26年度の予算づくりの作業が行われていましたが、このほど一般会計で40億4,820万円と言う予算案が出来上がりました。今年度は38億5,850万円でしたので約1億9千万円、率では4.9%増の予算案となりました。農業振興、子育て、社会福祉、町有林整備、道路改良、沙留公住改良などの事業費などで増額となっています。この予算案は3月11日から始まる定例議会で審議されて本予算となる予定です。

1月28日(火)

西興部村役場にて西紋町村会の首長会議を行いました。この会は、過去に合併をしないと判断した以降に各町村の共通課題を話し合う場として設けたもので興部町が会長と事務局を受け持っています。今回は、老朽化している西紋別環境衛生施設組合のし尿処理施設をどうするか？と言う事と、西紋の観光のこれからについて意見交換しました。し尿処理施設は40年以上経過して建物も機械も何とか維持している状況ですが、下水道の普及に伴い受け入れ量が減少していますが、全地区下水道の整備は不可能で、将来的にゼロにはならないため形は変わっても処理する施設は必要となります。しかし、施設更新への補助事業は無いため、既存の下水道処理施設での処理も含め早急に決定したいと思っています。また、観光については、興部以外は皆ホテルを抱え観光客の勧誘にご苦労をされています。また、紋別空港の東京便の安定化にも予算を使っている事から、個別に努力するだけでなく地域が連携した観光事業の検討をすることにしました。

2月11日(火) 建国記念日

祭日でしたが、北見市にモンゴル国の外務大臣ご夫妻が来られることから管内開発期成会で、昼食会を開き歓迎することになり出席しました。今回の大臣の来道は、武部前代議士にモンゴル国の名誉領事就任の伝達のために見えられたものです。武部前代議士はこれまで、モンゴル友好国会議員連盟の会長をされ現在は顧問と言う事での荣誉です。大相撲でのモンゴルの活躍は目覚ましい物がありますが、農業や日本に不足する鉱物資源開発など北海道にとっては大切な国になると思います。今後、オホーツク地域の発展に繋がる交流が出来たらと思いました。

大雪と言えば、関東を中心に冬野菜やイチゴなどのハウス農業が壊滅的な被害を受け、野菜の高騰が続いています。また、孤立した集落は高齢化率60%台と言う地域ばかりですが、高齢者も便利な生活になれば毎日買い物出来るのが当たり前になり、食品の備蓄が無い家庭が多かったようです。片方では、インターネットやスマートホンの普及で情報が氾濫していますが、いざという時に助けにならない情報ばかりでは困ります。私の子供時代、興部町でも昭和39年まで除雪車が入らず、冬は馬ソリが唯一の交通手段で、冷凍や糠漬けの魚、越冬野菜をはじめ味噌・醤油も自給していました。冬の間、街に買い物に行くと言う生活は小学校に入ってからでした。防災の観点からは、昔の人の生活を見直すことも必要なのかな？と考えています。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。